

# 宮城県感染症発生動向調査情報

平成28年10月20日発行

— 2016.10.10～2016.10.16—第41週—

## 1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第38週	第39週	第40週	第41週
水痘	1 0.20	1 0.10			1 0.33	3 0.60		7 0.26	13 0.22	1,126				
流行性耳下腺炎		2 0.20	1 0.20		1 0.33	1 0.20		2 0.07	7 0.12	859				
百日咳									0 0.00	21				
感染性胃腸炎	24 4.80	18 1.80	12 2.40	8 4.00	9 3.00	8 1.60		32 1.19	111 1.88	12,542	◎	◎	◎	◎
手足口病	37 7.40	13 1.30	9 1.80		3 1.00	5 1.00	4 2.00	36 1.33	107 1.81	1,942	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑					2 0.67			3 0.11	5 0.08	324				
突発性発しん	2 0.40	2 0.20	2 0.40	1 0.50	4 1.33	4 0.80	2 1.00	18 0.67	35 0.59	1,340	○	○	○	○
ヘルパンギーナ	9 1.80	6 0.60	16 3.20		2 0.67	8 1.60		30 1.11	71 1.20	3,707	◎	◎	◎	◎
インフルエンザ	1 0.13	5 0.33						3 0.07	9 0.09	28,085				
咽頭結膜熱								2 0.07	2 0.03	676				
流行性角結膜炎		1 0.33						2 0.33	3 0.25	99				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22 4.40	11 1.10	1 0.20				50 10.00	28 1.04	112 1.90	7,891	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	1 1.00								1 0.08	10				
無菌性髄膜炎									0 0.00	6				
マイコプラズマ肺炎	1 1.00			4 4.00	1 1.00	2 2.00	1 1.00	5 1.00	14 1.17	352				○レ
クラミア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	33 6.60	18 1.80	11 2.20	13 6.50	11 3.67	13 2.60		93 3.44	192 3.25	14,999	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	14				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	11	7	4	1	1	1	1	17	◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○: 発生または流行について、今後の情報に留意 レ: 発生が少なくなっている傾向				
	川崎病								1					
	不明発疹症								4					

## 2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名(第40週)、男性2名  
仙台南管内 男性1名、女性2名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O不明)

登米管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

仙南管内 女性1名

5類感染症: 報告なし

## 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

病原体の検出なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第38週採取分 (9.19～9.25)	第39週採取分 (9.26～10.2)	第40週採取分 (10.3～10.9)
RSウイルス	0件	3件	2件
Aデノウイルス	0件	1件	0件
エンテロウイルス	2件	2件	2件
ライノウイルス	1件	0件	1件
サイトメガロウイルス	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス1型	0件	1件	1件
パラインフルエンザウイルス2型	0件	2件	1件
パラインフルエンザウイルス4型	3件	3件	2件

## 3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

### 【定点把握対象疾患】

[ヘルパンギーナ]

大崎管内で警報継続中

[手足口病]

仙南管内で警報継続中

[A群溶血性レンサ球菌感染症]

石巻管内で警報値を超えた

## 4. 今週のコメント

### 【秋冬の感染症対策】

秋から冬にかけてのこれからのシーズンは、集団感染を引き起こす感染力の強い感染症が流行する時期となります。なかでも、インフルエンザやRSウイルスは、せきや鼻水などの飛沫による感染や感染者を介した接触感染によって広がります。県内では、現在RSウイルスの流行がみられており、先週、感染予防に関する注意喚起が県よりだされています。また例年、冬季は感染性胃腸炎の患者報告数も増加するシーズンとなり、集団感染の報告も徐々に増加しています。今後の動向に注意して、感染予防に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)  
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362  
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

